

2026 RIDING SPORT CUP 美浜シリーズ 競技規則



第1章 大会開催に関する事項

第1条

主催者及び運営

(株)美浜サーキット・クニモト
美浜モータースポーツクラブ(MMSC)
〒470-3235
愛知県知多郡美浜町大字馬池野間字16
TEL0569-87-3003 FAX0569-87-3001

第2条

開催場所

美浜サーキット・クニモト

第3条

開催日程

第1戦(決勝2ヒート)	5/31(日)
第2戦(決勝2ヒート)	7/26(日)
第3戦(決勝2ヒート)	10/11(日)

第4条

開催クラス

クラス	参加車両・対象
エンジョイ	フルコース51秒切れない方、初めてレースにでる方 (M・SP・ミニモト・NSF100車両) 基準タイムをクリアした方は上のクラスへ挑戦してください。
M ミニモト・ミニモト(M仕様)	2st50cc未満、4st100cc未満ミッションノーマル車両 鈴鹿ミニモトST車両、またはリアサス交換車両(M使用車両)
中部PW/QR選手権	PW50もしくはQR50
NSF100HRCトロフィー	NSF100ワンメイクレース
N125	4stミッション付き125cc以下のノーマル車両
ST125	4stミッション付き125cc以下の車両
HRC GROM Cup	HRC GROM車両によるワンメイクレース WエントリーはMクラス
CBR250R ドリームカップ	CBR250Rによるワンメイクレース
CBR250RR ドリームカップ	CBR250RRによるワンメイクレース
モタードクラス (上級A・中級B・初級C)	ご自身のタイムからクラス選択してエントリーして下さい。 (タイム目安 Aクラス48秒 Bクラス50秒 Cクラス52秒) クラスごとの表彰。 競技長判断によりクラス変更する場合があります。
Dクラス	4st125cc以下かつ前後16インチホイール以上の車両

第5条

大会延期・中止及び変更に関する事項

大会主催者は大会委員会の承認を得て大会の一部または全部を延期中止することが出来る。
イベントの全部を中止した場合にはエントリーフィーは全額返還されるが、天災地変の場合はこの限りではない。
尚、参加者はこれによって生じる損失について主催者に抗議することはできない。

第2章 競技会参加に関する事項

第1条

エントリー方法

各大会のエントリーは1ヶ月前～1週間前までとする。

期限を過ぎてのエントリーはレイトエントリー費として+2,000円頂きます。

WEBエントリーまたはサーキットでの直接申し込みとします。

エントリー完了後、**1週間以内**に下記のいずれか方法でお支払下さい。

お支払は、クレジット・コンビニ決済・口座振込・直接サーキットでの支払いのいずれかとする。

未成年者の場合は親権者の署名・捺印が必要です。

振込先

三菱UFJ銀行 半田支店(440) 普通0025134 カ)美浜サーキット・クニモト

クレジット・コンビニ決済

https://paysys.jp/forms?form_code=7817843318743825

第2条

参加資格

健康でかつレースに出場するのに相応しい良識的判断のできる者。

ミニバイク・ロードバイクでのサーキット走行経験者。

第3条

エントリーの受理、ゼッケンについて

エントリーを受理したものにはHP上のエントリーリストに表記します。HP上の表記を以ってエントリーの受理と致します。

またエントリー受付後のエントリーフリーの返還は一切行わない。

ゼッケンはコントロールタワー受付にて**1枚100円**で販売。

第4条

エントリー費

通常エントリー	¥9,000 モタードクラス女性は3,000円OFF
Wエントリー	1クラス追加につき ¥5,000
年間エントリー	¥22,000
年間Wエントリー	¥42,000
中部PW/QR選手権	¥4,000

遠征割:愛知・岐阜・三重県・静岡以外からエントリーされる方は¥2,000割引き ※中部PW/QR選手権は適用外。

第5条

ライダーの装備

- 1) レーシングスーツ、ブーツ、グローブは革製品とし、レーシングスーツはMFJ公認のスーツが望ましい。
- 2) ヘルメットはMFJ公認のロードレース用が望ましく、ヘルメットリムーバーの着用を強く推奨する。
- 3) いずれも、著しく損傷劣化しているものは使用不可とする。また背負い式脊椎パットの着用を強く推奨します。
- 4) また、チェストプロテクターの着用も強く推奨します。

第6条

計測器（トランスポンダー）について

計測器（トランスポンダー）はレース当日朝、配布致します。必ず所定の位置に取り付けて下さい。

紛失・破損（ポンダー代金は時価）については参加者の負担となります。

また計測器は練習走行から必ず取り付けて下さい。

第3章 競技に関する事項

第1条

コースレイアウト

フルコース

※モタードクラスは3コーナーありのフルコース

第2条

競技内容

- 1) 公式練習 5分
- 2) 公式予選 5分
- 3) 決勝レース① 8周

決勝レース② 10周 **※モタードクラスでダートを使用する場合は5周とする**

※天候等により周回数変更の場合あり

※ウェット路面でのレース開催については主催者、競技長より随時ブリーフィングで説明される。

第3条

スタート

- 1) スタートは前方シグナルによるスタンディングスタートとする。決勝グリッドは予選の結果によって決定し、グリッドよりスタートできなかった者はピットスタートとする。
予選同一タイムの場合はセカンドタイムで順位を決定する。
グリッドについては4×4の配列、モタードクラスは4×3の配列とする。
- 2) フライングをした者には、ゼッケンボードと黒旗を提示する。これを提示された者はピットインしなければならない。
ピットイン後、コース入口で一旦停止し、10秒後（コース入口で計測）レースに復帰することができる。
- 3) 予選においてタイム計測できなかった者の決勝グリッドは、最後尾または主催者が指定したグリッドとする。

第4条

レース終了

各レース1位の者がチェックカーフラッグを受けてから、2分間でレースを終了する。
2分以内でチェックカーを受けれない場合には、完走と認めず、リタイア扱いとする。
また完走者のみを入賞獲得の対象とする。完走者とは、トップ周回の60%以上を走行している者。

第5条

順位の決定

- 1) 順位の決定はチェックカーを受けた順によって決定する。
コントロールラインを通過する時は、ライダーとマシンが一緒に通過しなければならない。(押して通過してもよい)
- 2) 順位は完走者の中から周回数の多い順に決定される。
- 3) 同一周回数の場合はコントロールラインの通過順による。

第6条

レースの成立

- 1) レースは規定周回数をトップが60%周回した時点で成立とする。
60%を周回した場合の赤旗によるレース中断は、その前周の着順をもって成立とする。
- 2) 規定周回数の60%未満で赤旗によるレース中断となった場合は残り周回数で再スタートとする。
グリッドについては当初のスターティンググリッドに戻ってレースを再スタートする。
- 3) 競技長が競技続行不能と判断した場合、中断の前周の順位をもってレース終了とする。

第7条

公式練習・公式予選及びレース中における規則

- 1) 公式練習・公式予選は正当と認められる理由がない限り、必ず出走しなければならない。
また、出走が不可能な場合は大会事務局へ連絡しなければならない。
- 2) コースは常に先入者を優先とし、追い抜きをする者は前車の走行の妨害をしてはならず、また、前車は後車の進路を無理に妨害してはならない。
- 3) コースオフィシャルが、違反、妨害行為(ブッシング・ブロッキング・その他のスポーツマンシップに反する行為)とみなした者にはペナルティーを科す。
- 4) いかなる場合においても、逆走してはならない。但しコースオフィシャルの指示がある場合は除く。
- 5) レース中、やむを得ずコースアウトした場合を除きコースを外れてショートカットする事は認められない。
- 6) 衝突をさけるためにコースアウトした場合は、その最も近い場所からコースに復帰しなければならない。
- 7) スタートを含めレース中にコース内に停止した車両の選手は、他の選手に動かないことをアピールし、それらが通過した後に安全な場所移動しなければならない。
更に、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できる。
- 8) 選手が修理のためにピットに向かう場合は、コースに沿ったグリーン上を周回方向にのみ車両を押して移動することができる。
- 9) コース上でリタイヤする選手はコース上の安全な場所に移動しレース終了まで待機すること。
また、近くのコースオフィシャルにリタイヤの意思を伝えること。
- 10) ピットイン・ピットアウトは決められた場所で行うこと。ホワイトラインカットはペナルティー対象となる。
- 11) レース中にパドックに入った車両はレースを放棄したものとみなし、再びコースに入ることは許されない。
- 12) 参加選手の補助に関しては、コースオフィシャルのみが対応することができる。
- 13) レース進行中の大会役員、コースオフィシャルの裁定に対する抗議は受け付けない。
- 14) コース内では、いかなる場合でもライダー装備をすべて装着したまます。

第8条

フラッグ

- 1) イエローフラッグの解除は、現場通過後の解除とする。
- 2) 技術的トラブルのある車両へはオレンジボール旗とゼッケンNo.を提示するが、対象車両は速やかにピットインすること。
- 3) フラッグを無視したものに対しては厳重注意または、ペナルティーが科せられる。
- 4) コース上にグリップに影響を及ぼす物質がある場合には、各ポストでイエローフラッグを提示する。

第4章 抗議に関する事項

第1条

抗議

抗議が出来る権利を持っているのはライダーのみであり、他者からの抗議は一切受け付けない。
競技に関するこの判断はすべて競技長の解釈をもって最終判断とする。

第5章 賞典に関する事項

第1条

賞典

決勝の結果により、ライダーに対して以下の賞典を行う。各クラス1位から3位まで

- ・5台以上…1~3位
- ・5台未満…1位のみ

第2条

レースポイント

レースポイント					
1位	2位	3位	4位	5位	6位
15	12	10	9	8	7
7位	8位	9位	10位	11位	12位以下
6	5	4	3	2	1

※完走者のみ付与
※モタードクラスポイントは別途ファントムさんシリーズ規定に準ずる。

- 2) 2レース合計ポイントで表彰、同一ポイントの場合は2レース目の順位を優先とします。

第3条

美浜シリーズポイント

シリーズ3戦の合計ポイントでシリーズチャンピオンが決定

(1) 同一ポイントの場合は、上位順位獲得数の多い者が上位となる。

(2) 上記(1)で決定出来ない場合、最終戦成績結果(レース2)の上位順位の者を上位とする。

(3) 上記(2)で決定出来ない場合、MFJ国内競技規則付則I-14の記載方法によって決定する。

(4) シリーズ表彰数及び表彰式招待者については別途案内をする。

第6章 保険に関する事項

第1条

保険について

参加者は2026年度有効なRIDING SPORT CUPスポーツ安全保険の加入しなければならない。

第2条

保険責任期間

2026年4月1日午前0時より2027年3月31日午後12時まで

第3条

料金

大人(高校生以上) 3,300円

(65歳以上) 2,650円

子供(中学生以下) 2,250円

[詳細につきましてはRSMホームページ参照](#)

第4条

申し込み方法

WEB上より加入手続きを行ってください。

第5条

適用サーキットについて

この保険はライディングスポーツカップ主催サーキットであれば加入また保険が適用されます。

よってサーキットごとに加入する必要はありません。

第7章 その他の事項

第1条

パドックエリア及び駐車場の利用について

美浜サーキットパドック・駐車場使用における場所取りを行なう場合、トランポ等を置いて場所を取ることは構わないが、タイヤ等を置いて過度に他の参加者も利用する場所を取ることは禁止致します。また、レース後に使用したタイヤはサーキットでは処分できません。

持ち帰っていただきます様お願い致します。

車中泊をすることは可能ですが、21:00以降スタッフはおりません。各自の責任において宿泊するようにして下さい。

第2条

廃油について

サーキット指定の廃油缶に処分して下さい。

第3条

管理棟の利用について

管理棟はレース前日夜空いておりますが、管理棟内での火気の使用は禁止致します。

また缶・ペットボトル以外にてたゴミの処分は致しかねます。

ゴミはお持ち帰り下さい

第4条

その他

- 1) レース仕様車で、サーキット付近、一般公道を走行することを禁止する。
- 2) パドック・ピット内のブレーキテスト・タイヤテスト等は禁止する。
- 3) ピット・パドックエリアは全面禁煙です、たばこを吸う場合は灰皿のある指定場所をご利用下さい。
- 4) サーキット内で発生したごみは、すべて持ち帰ること。
- 5) 廃タイヤは1本500円で処分致します。
- 6) 施設内にタイヤを放置して帰ることは禁止する

第5条

主催者の権利

競技運営に伴う判断・決定の権利はすべて主催者にある。

また競技に関するこの変更その他はすべてHP上で発表される。

車両規定

第1条

総合規定

- 1) ブレーキは前後独立したもので、それぞれ有効なブレーキを備えていること。
- 2) 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートはとりはずすこと。ライト、ウィンカー、テールランプは取り外すか、テーピングを施すこと。
- 3) ハンドルは左右に一杯切った状態で、指を挟まないよう燃料タンク、カウル等に間隔を確保させること。
- 4) レバー類、ペダル類は安全上先端を丸くすること、またそれらの変更は可。
- 5) カウルなどを取り外した場合、そのステーは取り外すこと。その際フレームの加工は不要ステーの削除のみ可。
- 6) 同一型式以外でのエンジン・フレーム交換は認めない。但し、NSR50 ⇄ NSRmini NS50R ⇄ NS50Fは互換性を認め全ての部品の組み合わせが可。但しエンジンの基本性能に変化の生じる組み合わせは不可)
- 7) 取り外さなければならない物は、バックミラー、スタンド類、フロントバスケット、リアキャリア等、またヘッドライト、テールランプウインカー等は取り外すか、テーリングを施さなければならない。
- 8) オイルドレンボルト(エンジンオイル、ミッションオイル)、給油口はステンレスワイヤーを用いワイヤーロックをすること。

- 9) 燃料タンクにブリーザーパイプを取り付ける場合は、キャッチタンクを取り付けること。
- 10) オイルキャッチタンク、燃料キャッチタンクは、走行前に必ず空にしておくこと。
- 11) 車両の音量が極端に大きな車両は失格とする場合がある。最終判断は競技長の見解に委ねる。
- 12) ラジエーターを装着している全ての車両はリザーブタンクまたはキャッチタンクを取り付けること。
なお、サーモススタッフは取り外し可能。
- 13) キャブレターからのオーバーフローパイプには、キャッチタンクを取り付けること。
- 14) タイヤは一般市販タイヤ(競技用を除く)を使用すること。(一部クラスは除く)
レインタイヤについては一般市販タイヤ及び競技用タイヤのどちらでも可。
- 15) F/Rアスクルシャフトの固定はロックナットまたは割りピンを使用すること。アスクルシャフト及びスイングアームビポッドボルトにアルミ・チタン・マグネシウムを用いることを禁止する。
- 16) 4stミッション車両は万が一のエンジントラブル時を想定し、エンジンオイル総量を受け止めることができる容量と形状を確保したアンダーカウルを装着すること。
- 17) 全てのチェーン駆動車両に関してフロント、リアスプロケットの両方に、チェーンカバーを装着すること。
ただし、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合は取り外し可。
- 18) チェーンとスプロケットの噛合部にリア(ドリブン)スプロケットガードの装着を必須とする。
- 19) レース後車両に懐疑が生じた場合、車両の分解車検を行なうことがある。

第2条

クラス規定

M
関東ロードミニ選手権Mクラス車両規定に準ずる車両。
エンジョイ
特に車両制限は設けないが、危険と判断される改造は不可とする。 ※決勝中基準タイム(51秒)を切った場合、次戦より上のクラスにエントリーして下さい。
N125
RS-CUP明智ミニロード選手権シリーズ N125クラス車両規定に準じる車両。
ST125
関東ロードミニ選手権インポートミニクラスに準ずるミッション付き4st125cc以内の車両。 NSF100(マフラー交換可)。タイヤは一般に入手可能であれば自由とする。
NSF100 HRCトロфиー
NSF100 HRCトロфиー車両規則に準ずる車両。16才以下はHRC指定タイヤを使用する事。
HRC GROM Cup
HRC GROM Cup 車両規則に準ずる車両。HRC指定のタイヤを使用する事。
CBR250R ドリームカップ
CBR250R ドリームカップ レギュレーションに準ずる車両。HRC指定のタイヤを使用する事。
CBR250RR ドリームカップ
CBR250RR ドリームカップ レギュレーションに準ずる車両。HRC指定のタイヤを使用する事。
モタード
排気量は2st85cc以上、4st150以上のモトクロッサーおよびエンデューロレーサーバイク。 4ストロークエンジンでは最低200cc以上のオイルキャッチタンクを装着すること。 タイヤはレーシングスリックおよびレーシングレインタイヤの使用可。 ライト類、バックミラー、スタンド類、公道用ナンバープレートは取り外すこと。 その他は総合規定に準じていれば、この他の改造・変更は自由とするが、車検時に危険とみなされた車両は走行できない。ゼッケンについては事務局にて指定された番号を使用すること。 Dクラスは4st125cc以下かつ前後16インチホイール以上の車両のみとする。